

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ④

講演会と内覧会に出席

春の足音が聞こえてきました。天王川公園の堤には水仙が一斉に咲いています。桜の便りが待ち遠しい季節となりました。三月の第一土曜日と日曜日に二つのイベントに参加しました。今回のHPは土曜日の講演会と日曜日に出席した内覧会について書くことにします。

土曜日、市の文化会館でスポーツ少年団指導者研修会の記念講演会がありました。箱根駅伝で活躍し、アトランタオリンピックの日本代表選手となった實井謙二郎（じついけんじろう）氏の講演会でした。なんと氏は小学校5年生まで津島に住み、神守小学校に通っていました。津島のサッカー少年団にも所属していたそうです。家族の都合で岐阜県に転校しましたが、大学時代には箱根駅伝に四度出場し、一年生の時には一区で区間賞を取りました。その時の裏話が講演会の前半部分、後半はオリンピックの代表選手となるまでと選手の育て方・見守り方についての話。氏の講演のスタイルは素朴で、昔のできごとを「うん、うん」とうなづき思い出し、仁王立ちの講演となりました。箱根駅伝では、テレビに映る自分の姿をイメージし、ゲームの組み立てをしたそうです。はじめに飛び出し、そのままぶっちぎって走る作戦でした。とにかく「良いイメージを持つこと」「I can do」（やってみせるぞ）とポジティブに考える事、認める声掛けの大切さを教えていただきました。

日曜日、ジブリパークの新しい展示エリアの内覧会に出席しました。愛知県が力を入れている事業だけあって、スタジオジブリを再現した素敵な会場となっています。知事さんをはじめ多くの県の職員の皆さんにお会いできました。今回の「魔女の谷」のエリアは「魔女の宅急便」「ハウルの動く城」「アヤと魔女」の作品が基になっています。魔女のキキが箒に乗って飛んできそうでした。それぞれのエリアは、作品の一舞台が再現されています。思わずスタッフの方に作品の場面を確認しました。「となりのトトロ」が大好きな私は、展示会場を見て回りました。「サツキとメイの家」「どんどこ森」を見て、何度も見たトトロのアニメを思い出していました。目に見えないものが見える不思議な世界。ねこバスも会場を走っています。二万歩を超えるウォーキングとなりました。チャンスがありましたら、是非ジブリパークへ足をお運びください。できたら、一つでも二つでも作品を見てから（見直してから）行って下さい。まさに夢のエリアです。

春は出逢いと別れの季節。別れがあるから、新しい出逢いを大切にしたい。皆さんの新しい出逢いが素晴らしいものになることをお祈りします。

立春や名刺ケースに千社札

令和6年3月7日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視